

かがやき

～一人一人が輝くように～

第3号

平成29年7月3日発行

先日まで、梅雨の中休みでしたが、梅雨らしい季節となってきました。

さて、このように季節も進み、学校でもいろいろなことが終わり、また、楽しみにしている行事や懸念しているテストが始まろうとしている「まさに中学3年生」を満喫している「今」ではないでしょうか。このように、慌ただしい毎日の中、明るい希望を伺わせてくれる話題と言え、「将棋の藤井聡太四段」私たちと同学年の中学3年生であることは、みなさんも承知のとおり。今回は彼にまつわる話を一部、紹介します。

藤井四段が将棋を始めたのは、5歳。祖父母の勧めで将棋キットを使って、将棋を覚え始めたことをきっかけに将棋にのめり込み、毎日、将棋教室に通うまでに。その将棋教室では、詰め将棋を徹底的に教え込まれ、毎日、それを9歳までの4年間ひたすら繰り返やっていたそうです。また、教室で配られる戦法のプリントにも取り組み、自分で考えた戦法を書き、将棋の先生に提出。そのプリントを完結したのは、後にも先にも藤井四段だけ。今では、将棋教室の伝説にもなっているそうです。更には、勝因、敗因なども自作の将棋ノートに書き、日々、勝つための分析、研究も欠かさなかったと将棋教室の先生がインタビューに答えていました。このような事からも29連勝の偉業を打ち立てているのは、『偶然ではなく、必然』なのだと思いました。そして、この藤井聡太四段の逸話を聞き、思い浮かんだ言葉は、『好きこそものの上手なれ』ということわざです。

(意味;自分が好きなことなら、進んで工夫したり、努力したりするから上達が早く、おのずと技術も向上するということ)

このような藤井四段の姿から、みなさんに願うことは、『『好きこそものの上手なれ』を真似る。』ということ。部活動、勉強、駅伝、各学校行事のリーダーとして自分らしさを発揮する場面は多くあります。どの場面で自分を表現したいか、できるかよく考え、藤井四段に習ってみてはどうでしょうか。

保護者の皆さま、日頃から学校へのご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。早いもので1学期も終わりに近づいてきました。学校では、7月19日から保護者懇談会が予定されています。各担任から予定表を配布いたしますので、お忙しい中とは存じますが、お子様の今後の更なる成長に繋がる有意義な懇談会にしたいと思いますので、お願いいたします。

学年主任 辻 里美

先日、先を見通すために「到達と確認テストの日程」や「今後の学校行事、懇談会の予定」を各クラスで確認する学活を行いました。一人一人に配布した予定表や以前、吉野先生から配布された予定表を見ながら、計画的に実力テストのための家庭学習を実践してください。また、そのおまけとして配布した「滑川中学校3年生心得」を時折、音読して、自分の弱い心に鞭を打って覚醒させてほしいと思います。

滑川中学校3年生心得

- 一 生活の基本をおろそかにして知識・技術が身に付くわけがない。
「『おはようございます』『ありがとうございます』ちゃんと言っているか掃除はちゃんとしているか時間は守っているか」
- 二 毎日の積み重ねなくして勝利なし。
「調子がいいときだけ張り切ってやるのはだれでもできるさ」
- 三 表現力のないものは覚えたことを生かせない。
「わかっているけど、うまく言えない。それはわかっているさ。他人にうまく説明できないことは身に付いていないと言うことだ」
- 四 けがも病気も実力のうち。
「けがをしていたから力が出せなかった？そんな言い訳する人は、次は風邪をひいている」
- 五 自分のランクを自分で勝手に決めるな。
「私には才能がないなんて決め込むのは早い。人の才能なんてどこに潜んでいるか分からないものだ。」
- 六 「ほんのちょっとでいいから」が命取り
「ほんのちょっと休みたい」「ほんのちょっとだけ遊びたい」「ほんのちょっとだけ眠りたい」「ほんのちょっとこんなことならいいだろう」それでダメになった人は数え切れないよ。
- 七 もうダメだと思ったときのひと踏ん張りが勝負を決する。
「こっちがもうだめ」と思っているときは、みんなもきっとそう思っているはずだ。それでやめたら負けだよ。
- 八 やられたらすぐやり返せ。借金は長いほど利子が高つく。
「1回ミスしてもたいしたことではない。」それより、ずっとそのままにしておくの方が重大なことだ。
- 九 悪い癖はすぐに身に付く、良い習慣は身に付くには時間がかかる。
「悪いと分かっているけど誘惑に負けるのが人間だ。君だけじゃない、みんなそうなんだ。心に潜む悪と戦うのはとても苦しいが負けるな、そんなものに。」
- 十 解決する意志のない行為からよい結果は期待できない。
「ちっともうまくいかない？それは、ただダラダラと時間を過ごしているからじゃないか。」
- 十一 慰めや励ましは気晴らしになっても明日の力にはならない。
「苦しいときこそ他人をあてにするな。自分で解決した人だけが自分のものになるんだ。」
- 十二 努力することは大切だけど、努力する自分に感激するだけでは勝負に勝てない。
「一生懸命頑張ったからいいさ」なんて慰められて少し気が楽になったか？負けた勝負は返ってこないよ。
- 十三 弱い人間は結果をすぐに見たがる。
「こんなことやってうまくなるの？(点数が上がるの)」君、どれだけの努力したの？ちょっとやってうまくいくことなんて世の中にないよ。
- 十四 勉強は与えられてやるものではない。自分からやるものだ。
「指示待ち族で大成功した人はいない。」
- 十五 ミスは後始末の仕方によって重傷にもなるし、軽傷にもなる。
「ミスで怖いのは、ミスそのものよりもミスの動揺が尾を引くことだ。たった1回のミスをいつまでもくよくよ考えるな。」

- 十六 上達するのは抵抗することから始まる。自滅するな。あくまで抵抗せよ。
「負けるときは相手にやられるよりも自分で根気をなくしたり、集中力を欠いたりして負けることの方が圧倒的に多いものだ。」
- 十七 いかなる状況でも、今やるべきことを見逃すな。
「どんなに忙しくても、どんなに苦しくても、今やるべきことに最善を尽くしておけば、その他のことは自然に解決していくものだ。」
- 十八 人間にも匂がある。
「中学時代にしかやれないことがある。今しかやれないことがある。見逃してないか。」
- 十九 すべてに一流の生徒であれ。
「前髪を垂らしたり、ズボンを下げたりして歩いているようでは三流の生徒だね。」
- 二十 感謝心を忘れてないか。
「自分一人で偉くなったり、賢くなったりした人はいない。」

<7、8月の主な行事予定> 予定は変更になることがあります。

7月

- 3、4日（火・水）第1回到達と確認テスト
8、9日（土・日）県選手権大会（陸上、野球）
15～17日（土～月）県選手権大会
19～21日（水～金）保護者懇談会（三者）
21日（金）給食最終日
22、23日（土・日）県民体育大会、通信陸上
24日（月）終業式
25日（火）～ 夏季休業
30日（土）県吹奏楽コンクール

8月

- 6日（日）第2回資源回収
18日（金）体育大会リーダー宿題点検
21、22日（月・火）生徒会リーダー研修会
24日（木）第2回到達と確認テスト（午前）合唱リーダー研修会（午後）
25日（金）第2回到達と確認テスト（午前）団席アングル組立（午後）

